

平成23年6月28日

平成22年度の評価を受けて

「視聴者視点によるNHK評価委員会」は、外部の有識者で構成するNHK会長の諮問機関です。視聴者調査などをもとに、公共放送に対して視聴者の皆さまが何を期待しているか、また、その期待にNHKがどの程度応えているかを客観的に評価することをねらいとしています。

本日、2年目となる平成22年度の評価結果が松本会長に答申されました。

その報告書によると、評価の柱である「放送の信頼性」の評点は5段階評価で3.8点、「経営の信頼性」の評点は2.7点で、いずれも21年度に比べて0.2点向上しています。評価の柱を構成する8つの指標のうち7つで評点が向上しています。

また、NHKの放送サービスについて、視聴者に支払い意思額(WTP)を尋ねた結果、21年度と同様に、地上波・衛星波ともに現行の受信料額を上回っています。

さらに、評価委員会からは、「放送・通信融合時代の新しいサービスについても、視聴者の期待は高いので、これに応えていく必要がある」などの貴重な提言もいただきました。

NHKとしては、高い評価をいただいた指標について、なお一層の向上をめざして努力してまいりますとともに、21年度に比べやや厳しい評価をいただいた「誠実さ・透明性」の指標については、これを真摯に受け止め、重点的に取り組んでまいります。

また、評価委員会からいただいた様々な提言についても、今後の経営に生かしてまいりたいと考えています。

評価報告書および概要版は、NHKのホームページに掲載し公表します。